

別表(1)イ-A

福祉社会学科における専門教育科目

区分	授業科目	単位数 (○印は 必修)	配当 年次	教職の 教科専門 等科目 (福祉)	社会福祉士 「指定科目」 に対応する 授業科目	精神保健福祉 士「指定科 目」に対応す る授業科目	備考
基礎 科目群	福祉社会論	②	1				卒業には、基礎科目群のうち、必修科目②単位及び選択必修科目(※印、10科目)から12単位以上を含めて、計22単位以上の修得が必要である。
	市民参加論	2	1				
	※ 社会福祉概論	2	1	◎	◎	◎	
	※ 社会福祉原論	2	1	◎	◎	◎	
	※ 統計学Ⅰ	2	1				
	法律学概論Ⅰ	2	1				
	政治学概論	2	1				
	経済学概論	2	1				
	哲学概論Ⅰ	2	1・2				
	哲学概論Ⅱ	2	1・2				
	倫理学Ⅰ	2	1・2				
	倫理学Ⅱ	2	1・2				
	現代社会と公共性	2	2				
	法律学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	2				
	※ 社会学概論Ⅰ	2	2		◎	◎	
	※ 社会学概論Ⅱ	2	2				
	※ 教育学概論Ⅰ	2	2				
	※ 教育学概論Ⅱ	2	2				
	※ 心理学概論Ⅰ	2	2		◎	◎	
	※ 心理学概論Ⅱ	2	2				
統計学Ⅱ	2	2					
※ 社会調査	2	2	○	◎	◎		
社会保障論Ⅰ	2	3	○	◎	◎		
社会保障論Ⅱ	2	3	○	◎	◎		
学科専門 科目群 (社会福祉学群)	社会福祉史	2	1	○			卒業には、学科専門科目群のうち、社会福祉学群と人間形成学群のそれぞれから選択必修科目(☆印、35科目)を8単位以上ずつ修得することが必要である。
	☆ ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1	◎	◎	◎	
	☆ ソーシャルワークの基盤と専門職(社会福祉)	2	3	◎	◎		
	☆ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2	◎	◎	◎	
	☆ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	◎	◎	◎	
	☆ ソーシャルワークの理論と方法(社会福祉)	2	3	◎	◎		
	医学概論	2	2		◎	◎	
	介護概論	2	1・2	◎			
	☆ 地域福祉論	2	2	○	◎	◎	
	☆ コミュニティワーク	2	2	○	◎	◎	
	福祉サービスの組織と経営	2	2		◎		
	☆ 高齢者福祉論	2	2	◎	◎		
	☆ 障害者福祉論	2	2	◎	◎	◎	
	☆ 児童福祉論	2	2	◎	◎		
	刑事司法と福祉	2	3	○	◎	◎	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(社会福祉)	2	2	◎	◎		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(社会福祉)	2	3	◎	◎		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(社会福祉)	2	3	◎	◎		
	保健医療と福祉	2	2	○	◎		
	権利擁護を支える法制度	2	2	○	◎	◎	
	☆ 公的扶助論	2	3	○	◎		
	☆ 社会的養護実践論	2	3	○			
	ソーシャルワーク実習Ⅰ(社会福祉)	2	3	◎	◎		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ(社会福祉)	4	3	◎	◎		
	ソーシャルワーク演習Ⅰ(社会福祉)	4	3	◎	◎		
	ソーシャルワーク演習Ⅱ(社会福祉)	4	3	◎	◎		
	☆ 精神医学と精神医療Ⅰ	2	3			◎	
	精神医学と精神医療Ⅱ	2	3			◎	
	☆ 現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	2			◎	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	2			◎	
	☆ 精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2			◎	
	☆ 精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2			◎	
	ソーシャルワークの理論と方法(精神保健福祉)Ⅰ	2	3			◎	
	ソーシャルワークの理論と方法(精神保健福祉)Ⅱ	2	3			◎	
	☆ 精神障害リハビリテーション論	2	3			◎	
	☆ 精神保健福祉制度論	2	3			◎	
	ソーシャルワーク演習(精神保健福祉)	2	2			◎	
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	2	3			◎	
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	2	3			◎	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	2	4			◎	
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	2	3			◎		
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4	4			◎		
精神保健福祉援助実習	6	4			◎		
人体構造と生活行動	1	3・4	◎				
加齢と障害	1	3・4	◎				
労働法Ⅰ	2	3					
労働法Ⅱ	2	3					
家族法	2	3					

区分	授業科目	単位数 (○印は 必修)	配当 年次	教職の 教科専門 等科目 (福祉)	社会福祉士 「指定科目」 に対応する 授業科目	精神保健福祉 士「指定科 目」に対応す る授業科目	備考
学科専門科目群（人間形成学群）	☆ 生涯学習論Ⅰ	2	1				
	☆ 生涯学習論Ⅱ	2	1				
	教育心理学	2	1				
	青年心理学	2	1				
	教育基礎論	2	1				
	教育専門職論	2	1				
	家族社会学	2	1				
	文化社会学	2	1				
	☆ 地域社会学	2	2				
	☆ 人格発達論Ⅰ	2	2				
	☆ 人格発達論Ⅱ	2	2				
	心理学実験Ⅰ	2	2				
	心理学実験Ⅱ	2	2				
	実験計画法Ⅰ	2	2				
	実験計画法Ⅱ	2	2				
	教育行政学	2	2				
	教育社会学	2	2				
	教育方法学	2	2				
	地域社会学	2	2				
	☆ 障害児（者）教育論	2	2				
	社会教育特講Ⅰ	2	2				
	社会教育特講Ⅱ	2	2				
	生涯学習支援論Ⅰ	2	2・3				
	生涯学習支援論Ⅱ	2	2・3				
	社会教育経営論Ⅰ	2	2・3				
	社会教育経営論Ⅱ	2	2・3				
	☆ 教育福祉論	2	3				
	☆ 生活教育論Ⅰ	2	3				
	☆ 生活教育論Ⅱ	2	3				
	臨床心理学	2	3				
	☆ 社会心理学Ⅰ	2	3				
	☆ 社会心理学Ⅱ	2	3				
	☆ 社会病理学Ⅰ	2	2				
	☆ 社会病理学Ⅱ	2	3				
	社会学文献講読	2	2				
	環境社会学	2	3				
	☆ 発達心理学Ⅰ	2	3				
	☆ 発達心理学Ⅱ	2	3				
	☆ 知覚心理学Ⅰ	2	3				
	☆ 知覚心理学Ⅱ	2	3				
	地方自治論	2	3				
	カウンセリング論	2	3				
	臨床社会学	2	3				
医療社会学	2	3					
現代メディア論	2	3					
生理心理学	2	3・4					
比較心理学	2	3・4					
教育制度論Ⅰ	2	3					
教育制度論Ⅱ	2	3					
社会教育実習	1	3					

区分	授業科目	単位数 (○印は 必修)	配当 年次	教職の 教科専門 等科目 (福祉)	社会福祉士 「指定科目」 に対応する 授業科目	精神保健福祉 士「指定科 目」に対応す る授業科目	備考
論 演 文 習 科 ・ 目 卒 業	福祉社会学入門演習	②	1				基礎演習は、4科目のうち1科目を選択必修。2科目以上を修得して卒業単位に含めることもできる。 専門演習 I A・I Bは、5科目のうちそれぞれ1科目を選択必修。卒業単位に含まれるのはそれぞれ1科目までである。 卒業論文はCAP制の適用外とする。
	基礎演習 (社会福祉)	2	2	◎	◎		
	基礎演習 (教育)	2	2				
	基礎演習 (心理)	2	2				
	基礎演習 (社会学)	2	2				
	専門演習 I A	2	3				
	専門演習 I A (社会調査)	2	3				
	専門演習 I A (社会教育)	2	3				
	専門演習 I A (教育・心理)	2	3				
	専門演習 I A (心理)	2	3				
	専門演習 I B	2	3				
	専門演習 I B (社会調査)	2	3				
	専門演習 I B (社会教育)	2	3				
	専門演習 I B (教育・心理)	2	3				
	専門演習 I B (心理)	2	3				
専門演習 II	②	4					
卒業論文	⑧	4					

(注1) 配当年次欄の「1・2」「2・3」「3・4」は、隔年開講を表す。別表(1)イーBも同様。

(注2) 「教職の教科専門等科目」欄中、◎印は教職上の必修科目、○印は教職上の選択科目を表す。

(注3) 社会福祉士、精神保健福祉士「指定科目」に対応する授業科目欄中、◎印は資格取得上の必修科目を表す。
詳細は、社会福祉士については別表(3)、精神保健福祉士については別表(4)を参照のこと。

別表(1)イーB

福祉社会学科における教職関連科目

教科専門等科目	単位数	配当 年次	免許状の種類	備考
			高等学校・福祉	
福祉科教育法 I	2	2・3	◎	
福祉科教育法 II	2	2・3	◎	

(注4) 「免許状の種類 高等学校・福祉」の欄中、◎印は教職上の必修科目を表す。

(注5) 別表(1)イーBの教職関連科目は、本学科の卒業要件に含めることはできない。